

チームシステム導入編

GLOOBE チームシステムの導入に必要なサーバーをセットアップする方法を解説します。

1. セットアップの前に.....	2
2. インストール	4
3. データベースシステムを導入	5
4. IISホスト可能なWebコアを有効化.....	6
5. サービスの設置を設定.....	7
6. サービスを開始	9
7. システム管理者を登録.....	10
8. ポート番号を追加	12
9. プロジェクト管理者を登録.....	13

1 セットアップの前に

下記の条件に基づいてサーバーを設置し、必要なソフトウェア等の構成を準備してください。

サーバー

下記要件のサーバーを設置します。

サーバーの設置場所

下記に設置されているサーバー

- ・ 社内のネットワーク（LAN）内
- ・ クラウド

※ Azure の仮想マシンのみ動作確認済みです。

※ クラウドと外部接続する場合は、SSL/TLS による暗号化通信が必要です。

TCP ポート

サーバーの GLOOBE チームシステムとのデータのやり取りで使用し、最大 3 個の TCP ポートを使用します。

- ・ GLOOBE でプロジェクト作業するときにサーバーとデータ通信
- ・ ブラウザを使ってサーバーの管理サイトで GLOOBE チームシステムを設定するときの通信

※ SSL/TLS による暗号化通信を行う場合は、内部管理用にもう 1 つの TCP ポートを使用します。

※ 暗号化通信を行う場合、事前に SSL/TLS サーバー証明書が必要です。運用によっては、自己署名証明書でも構いません。

※ サーバー証明書は、下記の証明書ストアに保存しておく必要があります。

保存場所：ローカルコンピュータ

証明書ストア：個人

動作環境

設置サーバーに必要なソフトウェアのシステム構成です。

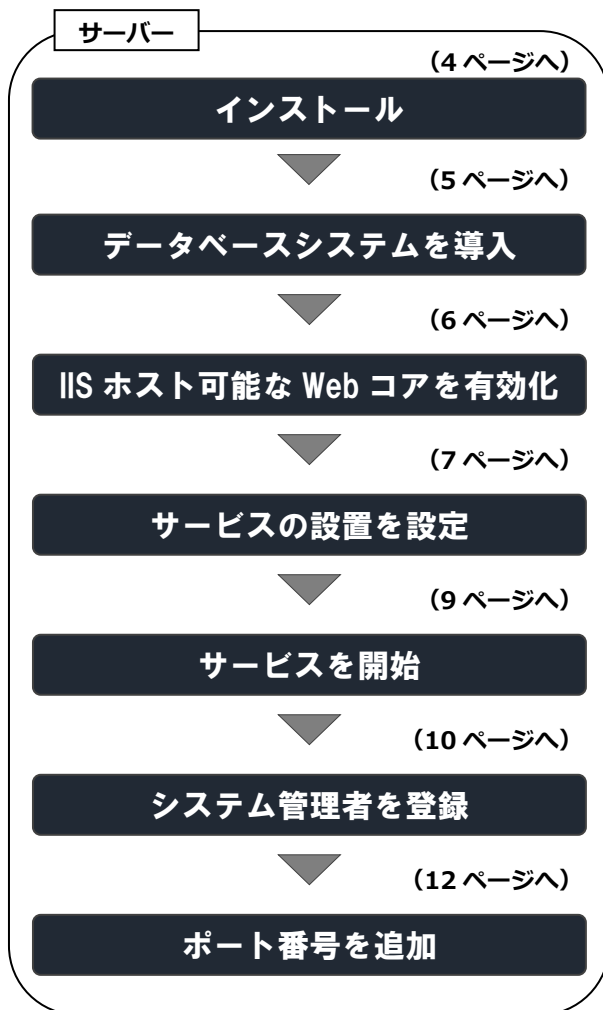
オペレーティング・システム (OS) <ul style="list-style-type: none">・ Windows Server 2022・ Windows Server 2019・ Windows Server 2016・ Windows Server 2012R2	Windows の機能の有効化 <ul style="list-style-type: none">・ IIS のホスト可能な Web コア ※ Windows Server の『役割と機能の追加』にある機能です。 ※ チームシステムのセットアップでも有効化できます。
データベース <ul style="list-style-type: none">・ SQL Server 2022 / 2019 / 2017 / 2016 / 2014・ SQL Server Express 2022 / 2019 / 2017 / 2016 / 2014 ※ 導入時に大容量のストレージを割り当ててください。	

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、GLOOBE チームシステム専用に独立したサーバーを構築することを推奨します。他のシステムで構築されているサーバーを共有した場合、システムのデータ破壊等の不具合が生じる可能性があります。それらに対する保証およびサポートは一切できません。

セットアップの流れ

GLOOBE チームシステムのセットアップは、以下のような流れになります。



クライアント※

(13 ページへ)

プロジェクト管理者を登録

プロジェクト管理者を登録したら、「チームシステム編」を参照して運用を開始します。

※クライアントは、サーバーと通信できる他のコンピュータです。

GLOOBE がインストールされているコンピュータで行ってください。

バージョンアップの流れ

GLOOBE 2022 チームシステムがインストールされている場合は、次の流れで GLOOBE 2023 チームシステムにバージョンアップできます。

バージョンアップの前に

チームシステムに参加しているメンバー全員のワークスペースに未送信の変更データがないことを確認してからバージョンアップを行ってください。

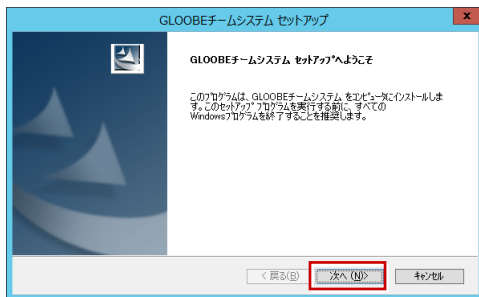
サーバー

1. サーバーに「**セットアップ DVD**」をセットします。
2. DVD 内の「**GLOOBETeam-Installer.exe**」を実行します。
表示される画面に従って、インストールを進めます。

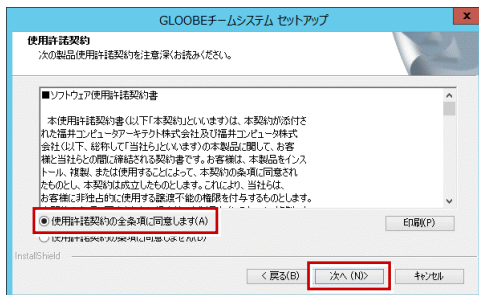
2 インストール

サーバーに GLOBE チームシステムをインストールします。

1. サーバーに「セットアップ DVD」をセットします。
2. DVD 内の「GLOBETeam-Installer.exe」を実行します。
3. GLOBE チームシステム セットアップへようこそ「次へ」をクリックします。

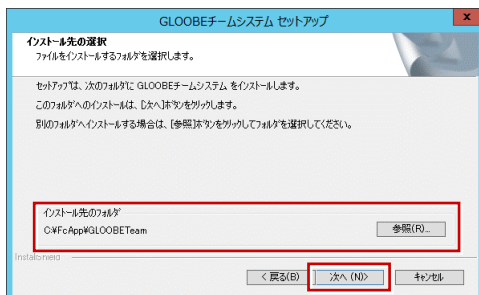


4. 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して次へ進みます。



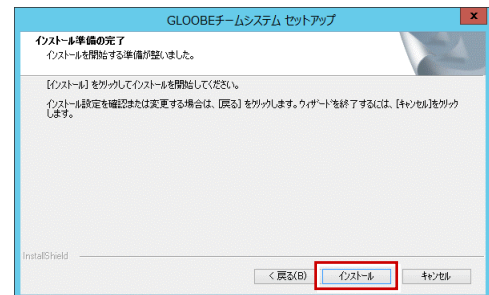
インストールが開始します。

5. プログラムのインストール先を設定して、「次へ」をクリックします。

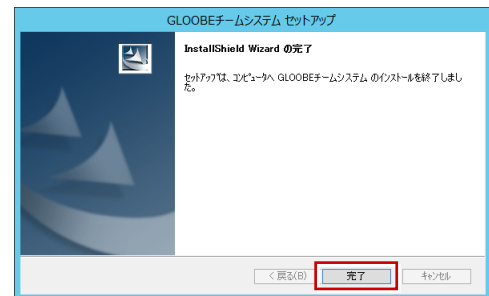


インストールが開始します。

6. 「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが終了したら、「完了」をクリックします。



「GLOBE チームシステム 導入設定」が開くショートカットが作成されます。



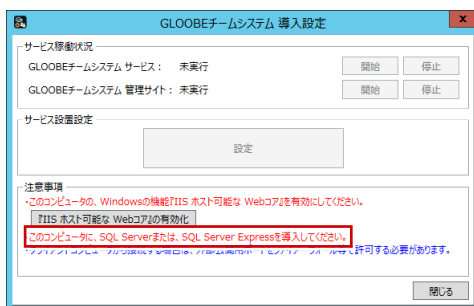
3 データベースシステムを導入

GLOOBE チームシステムのサーバーでデータベースシステムが使えるようにします。

1. ショートカット「GLOOBE チームシステム 導入設定」をダブルクリックします。



2. 「注意事項」に「このコンピュータに、SQL Server または、SQL Server Express を導入してください。」が表示されていることを確認します。



3. 表示されていたら、データベースシステムをサーバーにインストールして、インスタンスを作成してください。
インストールおよびインスタンスの作成は、データベースのシステムによって異なりますので、そちらのセットアップガイドを参照してください。

4. データベースを導入したら、「注意事項」の「このコンピュータに、SQL Server または、SQL Server Express を導入してください。」が消えていることを確認します。



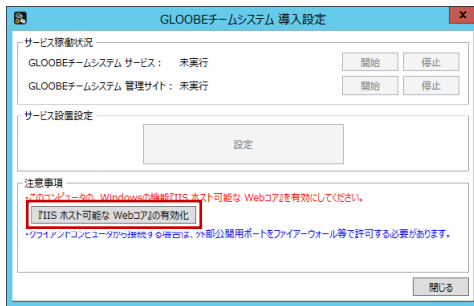
4 IIS ホスト可能な Web コアを有効化

Windows Server の「役割と機能の追加」※にある「IIS ホスト可能な Web コア」を有効化します。※WindowsServer2012R2
ここでは、「GLOBE チームシステム 導入設定」から「IIS ホスト可能な Web コア」を有効化する方法を紹介します。

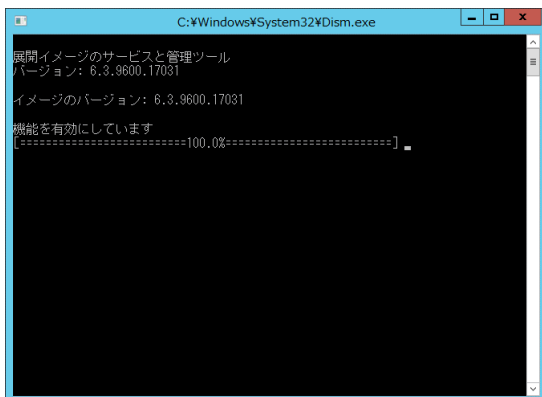
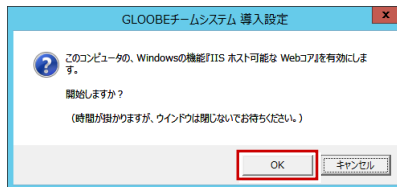
1. 「注意事項」に「このコンピュータの、Windows の機能『IIS ホスト可能な Web コア』を有効にしてください。」が表示されていることを確認します。



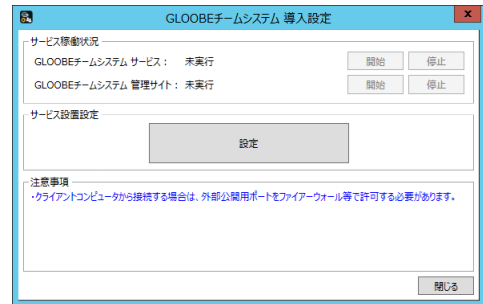
2. 「『IIS ホスト可能な Web コア』の有効化」をクリックします。



3. 確認画面のメッセージを確認して「OK」をクリックします。



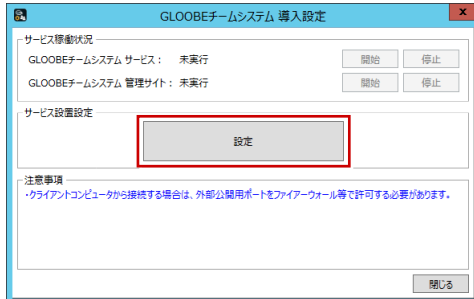
4. 有効化したら、「注意事項」の「このコンピュータの、Windows の機能『IIS ホスト可能な Web コア』を有効にしてください。」が消えていることを確認します。



5 サービスの設定を設定

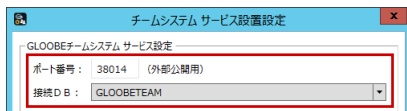
サーバーで稼働する GLOBE チームシステムのサービスについて設定します。

1. 「サービス設置設定」の「設定」をクリックします。



2. 「チームシステム サービス設置設定」ダイアログで各項目を設定します。

GLOBE チームシステム サービス設定



ポート番号

GLOBE でプロジェクト作業を行うときに、サーバーのサービスを特定する識別番号を設定します。

接続 DB

「3. データベースシステムを導入」で作成したインスタンスの名称を選択します。

GLOBE チームシステム 管理サイト設定

暗号化通信しない場合 (URL が http://~)

インターネットから遮断した社内ネットワークでサーバーを使用する場合などで設定します。



ポート番号 (外部公開用)

Web ブラウザで、社内のマシンからサーバーの GLOBE チームシステム管理サイトのサービスに接続するための識別番号を設定します。
空白の場合、ポート番号は「80」になります。

暗号化通信する場合 (URL が https://~)

社内ネットワーク外にあるサーバー、もしくはクラウドのサーバーを使用する場合などで設定します。



ポート番号 (外部公開用)

Web ブラウザで社内ネットワーク外のサーバーの GLOBE チームシステム管理サイトのサービスに、SSL/TLS による暗号化で接続するための識別番号を設定します。

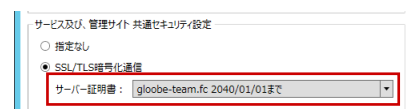
空白の場合、ポート番号は「443」になります。

ポート番号 (ホスト管理専用)

このサーバーの GLOBE チームシステム管理サイトのサービスに暗号化を介さないで接続するための識別番号を設定します。

社内ネットワークのサーバーを使用するなど、通信を暗号化しない場合、この項目の設定は不要です。また、必要ない場合は空白で未使用となります。

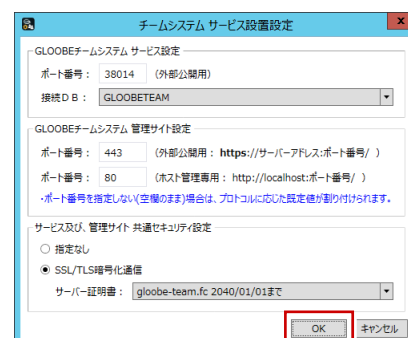
サーバー証明書



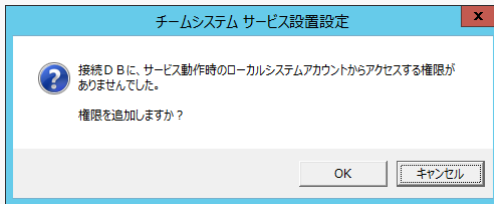
暗号化通信を行う場合、SSL/TLS サーバー証明書が必要です。

事前に証明書ストアに保存した電子署名書が「サーバー証明書」の一覧に表示されるので、使用する証明書を選択します。

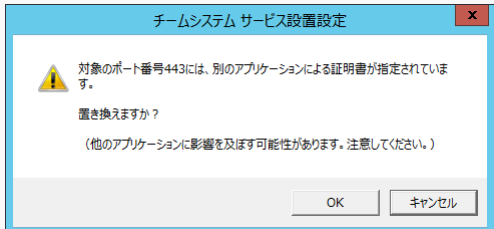
3. 設定したら「OK」をクリックします。



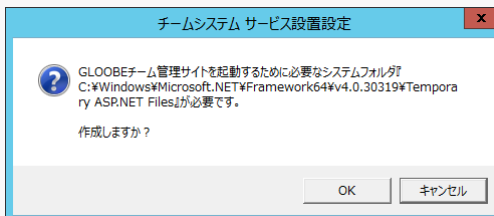
メッセージ画面が表示されたら



「GLOOBE チームシステム サービス設定」の「接続 DB」で選択したデータベースのインスタンスに、サービス稼働時のローカルシステムアカウントからアクセスする権限がない場合に表示されます。「OK」をクリックして、アクセスする権限を追加します。



「GLOOBE チームシステム 管理サイト設定」の外部公開用の「ポート番号」で指定したポート番号が、すでに別のアプリケーションによって電子証明書が割り当たっている場合、「サーバー証明書」で選択した証明書で置き換えるための確認です。「OK」をクリックした場合、他のサービスに影響を与える可能性があります。置き換えたくない場合は、「キャンセル」をクリックして、別のポート番号を割り当てるなどで対処してください。

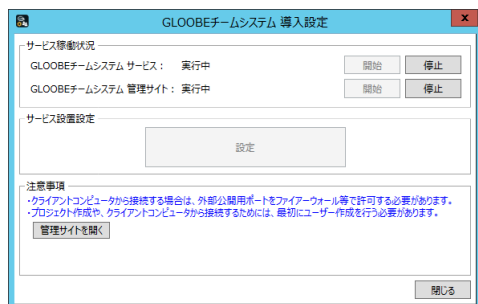
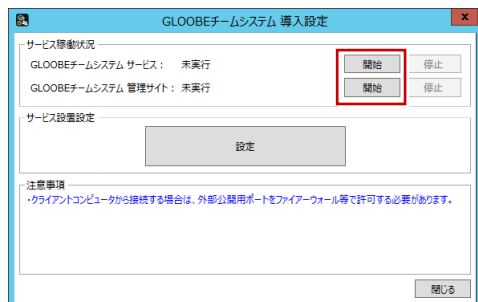


有効化した『IIS ホスト可能な Web コア』を使用するにあたり、システムに必要な作業フォルダが見つからなかった場合に表示されます。「OK」をクリックして、システムフォルダを作成します。

6 サービスを開始

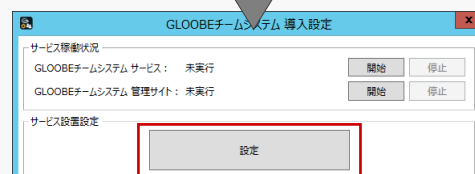
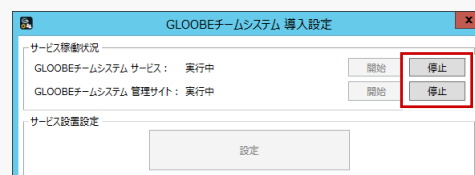
サービス設定を設定したら、サービスを開始して GLOBE チームシステムを利用可能な状態にします。

1. 正常に「チームシステム・サービス設定」ダイアログが閉じられたら、「サービス稼働状況」の「開始」ボタンがクリック可能になります。
「開始」をクリックします。



サービスの設置を再設定するには

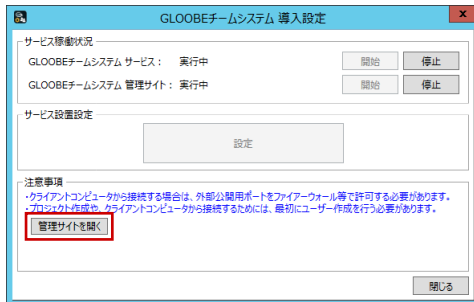
GLOBE チームシステムのサービスが開始されると、「サービス設置設定」の「設定」ができなくなります。
「サービス設置設定」を再設定するには、「停止」をクリックしてサービスを止める必要があります。



7 システム管理者を登録

GLOBE チームシステムの管理サイトを設定できるシステム管理者を登録しましょう。

1. 「GLOBE チームシステム 導入設定」の「管理サイトを開く」をクリックします。



2. 管理サイトの「新規ユーザーの追加」をクリックします。



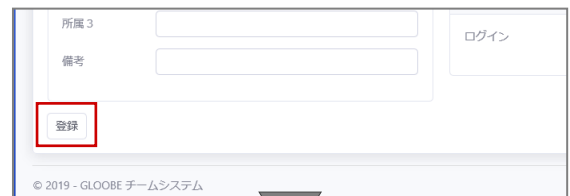
3. 登録するシステム管理者のユーザー情報を入力します。



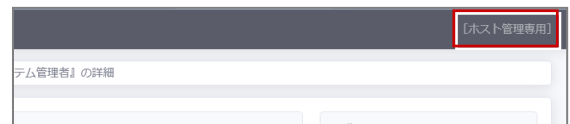
4. 「役割」の「システム管理」を ON、「状態」の「ログイン」が ON になっていることを確認します。



5. 「登録」をクリックします。



6. 「ホスト管理専用」をクリックします。



7. 登録したシステム管理者のログインIDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

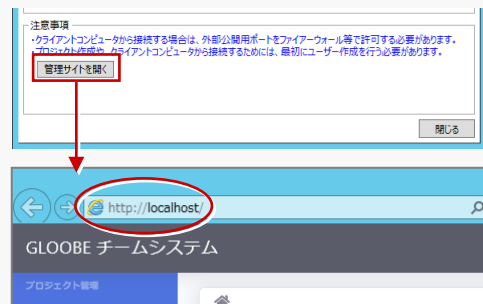
初めてログインするので、次の確認画面が表示されます。同じパスワードをもう一度入力します。

サーバーの管理サイト

サーバーで管理サイト (<http://localhost/>) を開いた場合、ホスト管理専用ユーザーでログインした状態になります。

ただし、権限はシステム管理者と同等の役割ですが、プロジェクトの新規作成は行えません。

別ユーザーのシステム管理者を登録して、別のコンピュータから管理サイトを開き、登録したシステム管理者でログインしてプロジェクトを作成してください。

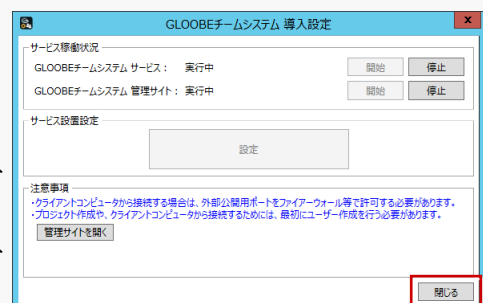


システム管理者を登録したら

管理サイトでシステム管理者を登録できたら、「GLOBE チームシステム 導入設定」の「閉じる」をクリックしましょう。

サーバーからサインアウトしても、GLOBE チームシステムのサービスは常時稼働しています。

また、サーバーを再起動した場合、GLOBE チームシステムのサービスは自動的に開始されます。



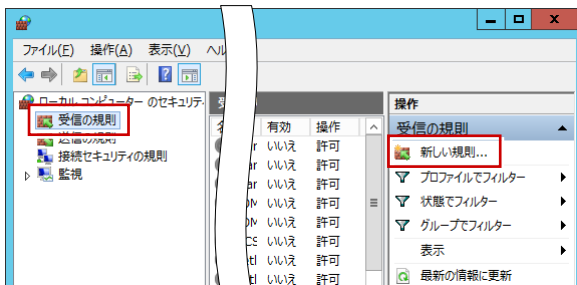
8 ポート番号を追加

ポート番号を追加して他のコンピュータから GLOOBE チームシステムと管理サイトを利用できるようにします。

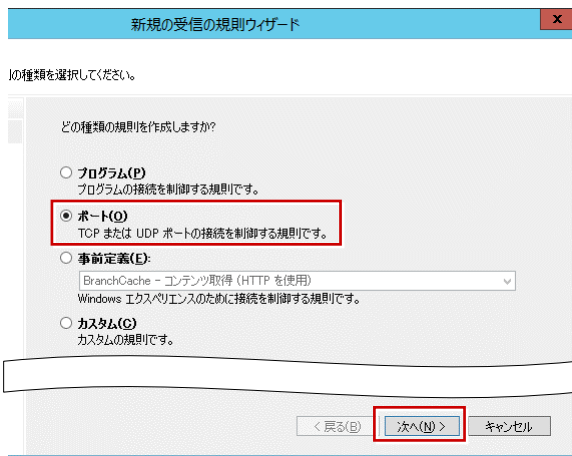
1. サーバーのコントロールパネル(設定)から「Windows ファイアウォール」の「詳細設定」を開きます。



2. 「受信の規則」から「新しい規則」をクリックします。



3. 「ポート」を選び、「次へ」をクリックします。



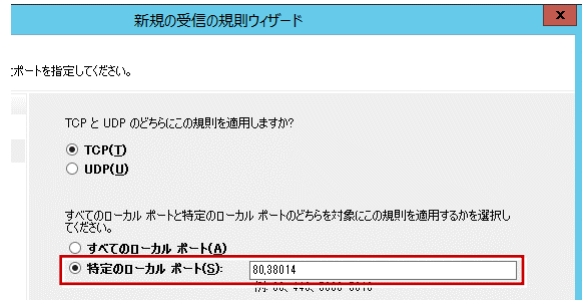
外部にあるサーバーを使用する場合

クラウドなど、自社のネットワーク外にあるサーバーの場合は、右図の赤枠に設定したポート番号のみ受信の規則に追加します。

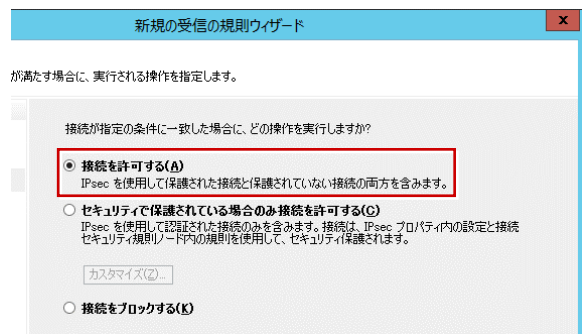
ホスト管理専用指定したポート番号には、絶対にファイアウォール経由の通信を許可しないでください。

チームシステム サービス設定	
ポート番号:	38014 (外部公開用)
接続 DNS:	GLOOBETEAM
GLOOBEチームシステム 管理サイト設定	
ポート番号:	443 (外部公開用) hnt
ポート番号:	80 (ホスト管理専用)
・ポート番号を指定しない(空欄のまま)場合は、プロ	

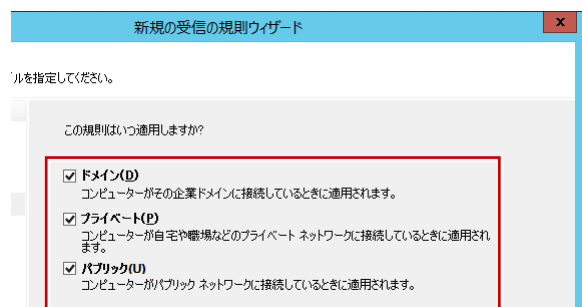
4. 「特定のローカルポート」に管理サイトの外部公開用ポート番号とチームシステムサービス用のポート番号に区切り文字(半角コンマ「,」)を入れて、「次へ」をクリックします。



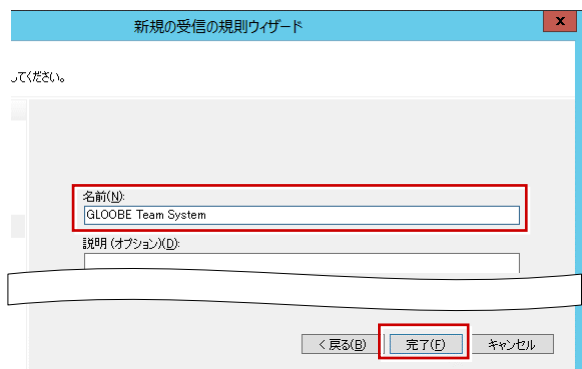
5. 「接続を許可する」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。



6. サーバーを使用するクライアントマシンのネットワークを ON にして、「次へ」をクリックします。



7. 「名前」に、設定したポートを使用するプログラムの名称などを入力して、「完了」をクリックします。



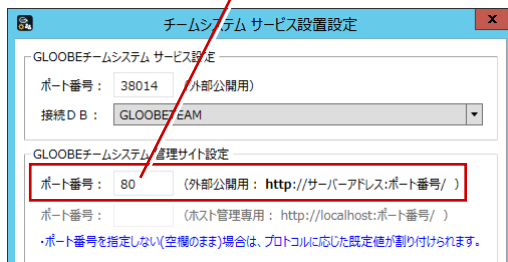
9 プロジェクト管理者を登録

サーバーでシステム管理者を登録したら、別のコンピュータから管理サイトを開き、プロジェクト管理者を登録します。

1. 別のコンピュータでブラウザを開き、サーバーの URL と管理サイト設定用のポート番号を入力します。



GLOOBE チームシステムをインストールしたサーバーのアドレス



2. サーバーで登録したシステム管理者の ID とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。



3. 「新規ユーザーの追加」をクリックします。



4. 登録するプロジェクト管理者のユーザー情報を入力します。



5. 役割を設定します。
ここでは、「プロジェクト管理」と「ユーザー管理」を ON にします。



6. 「登録」をクリックします。

